

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	B-4	調査位置					北緯	36° 20' 33.0000"	
発注機関	栃木県足利土木事務所			調査期間	2010-01-27 ~ 2010-02-01			東経	139° 28' 10.0000"
調査業者名				主任技師				現場代理人	コア鑑定者
孔口標高	42.17 m	角度		方向		地盤勾配		使用機種	試錐機
総掘進長	6.45 m							エンジン	ハンマー落下用具

標尺	層高	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試験深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数			打撃回数 ／ 貫入量 (cm)							
												0	10	20								
(m)	(m)	(m)	(m)								(m)											
1	41.12	1.05	1.05		暗褐色			産生砕石物である 風化角礫混じる			1.15											
2					黒灰	密な		頁岩・粘板岩 下位に従いφ15～20mmの角礫状となる			1.45	9	12	21	30	42						02/27
3	39.37	1.75	2.80		黄褐色			粘板岩が風化土化したもの。			2.15	5	8	18	30	31						
	38.87	0.50	3.30		黒灰			粘板岩の強風化帯 所々石英脈を挟む コアはほとんど細粒土及び細礫状となる			2.45					50						
4					黒灰			粘板岩の強風化帯 所々石英脈を挟む コアはほとんど細粒土及び細礫状となる			3.15	22	22	6	2	50	>50					
	37.77	1.10	4.40		黒灰			粘板岩の強風化帯 所々石英脈を挟む コアはほとんど細粒土及び細礫状となる			3.37					50						
5					黒灰			粘板岩の強風化帯 所々石英脈を挟む コアはほとんど細粒土及び細礫状となる			4.15	16	18	7	27	>50						01/28
					黒灰			粘板岩の強風化帯 所々石英脈を挟む コアはほとんど細粒土及び細礫状となる			4.42					50						
6	35.72	2.05	6.45		黒灰			粘板岩の強風化帯 所々石英脈を挟む コアはほとんど細粒土及び細礫状となる			5.15	22	22	6	30	50						
					黒灰			粘板岩の強風化帯 所々石英脈を挟む コアはほとんど細粒土及び細礫状となる			5.45					50						
					黒灰			粘板岩の強風化帯 所々石英脈を挟む コアはほとんど細粒土及び細礫状となる			6.15	16	16	16	30	48						01/29
					黒灰			粘板岩の強風化帯 所々石英脈を挟む コアはほとんど細粒土及び細礫状となる			6.45					48						